

令和6年7月大雨における公共土木施設の災害復旧工事の進捗状況（県工事）

災害復旧工事の発注については、全体の 84 % について契約が完了し、36 % について完成

総合支庁	災害復旧箇所数	契約箇所数（契約率）	完成箇所数（完成率）
西村山地域振興局	5	5（100%）	5（100%）
北村山地域振興局	53	53（100%）	42（79%）
最上総合支庁	391	329（84%）	138（35%）
西置賜地域振興局	4	4（100%）	4（100%）
庄内総合支庁	196	154（79%）	42（21%）
合 計	649	545（84%）	231（36%）

主要地方道 新庄鮭川戸沢線 災害復旧工事（戸沢村）



被災時（撮影：R6.7月）



完成（撮影：R7.10月）

1 土砂災害警戒区域等指定に係るこれまでの取組

●平成16年度～

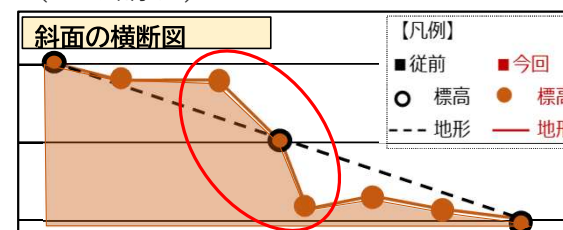
- ・土砂災害警戒区域等の基礎調査（平成16年度～）
 - ・土砂災害警戒区域等の指定（平成17年度～）
- ※ 5, 243箇所（令和8年3月末現在）

●令和3年度～7年度

- ・令和元年東日本台風などで全国的に土砂災害警戒区域外での土砂災害の発生が報告されたことから、より高精度な地形情報等を用いて**新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」7, 161箇所を抽出（公表：令和7年1月）**
- ・市町村長への事前説明（令和6年12月）

2 今後の取組

■新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の抽出イメージ
(がけ崩れ)



高精度な地形情報により、
標高情報が増えたことで、
急斜面だと判明し抽出

■ 区域指定までの流れ	R6	R7	R8	R9以降
候補箇所の抽出・公表				
測量地形図作成				
基礎調査				
住民説明会				
市町村長への意見聴取				
区域指定				

- 今年度から、当該箇所のうち要配慮者利用施設や指定避難所がある431箇所を優先し、計画的に基礎調査を実施
- 基礎調査により危険度の状況を把握し、その後、住民説明会により周知
- 市町村や関係機関との調整が整った箇所から順次「土砂災害警戒区域等」の追加指定